

## 2021年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2021年5月11日

上場会社名 株式会社ユタカ技研 上場取引所 東  
 コード番号 7229 URL <https://www.yutakagiken.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 直己  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 清水 克訓 TEL 053-433-4111  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2021年3月期の連結業績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	191,326	17.1	3,641	△20.7	3,837	△15.6	△204	—	△1,335	—	3,726	—
2020年3月期	163,435	△9.8	4,589	△46.6	4,546	△49.5	1,351	△75.2	1,049	△77.5	△2,142	—

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△90.07	—	△1.8	2.3	1.9
2020年3月期	70.79	—	1.4	3.0	2.8

(参考) 持分法による投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	189,178	85,763	76,028	40.2	5,130.72
2020年3月期	147,515	84,357	74,777	50.7	5,046.30

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	16,151	△8,691	△625	32,121
2020年3月期	12,816	△9,197	△5,363	22,843

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	36.00	—	36.00	72.00	1,067	101.7	1.4
2021年3月期	—	0.00	—	36.00	36.00	533	—	0.7
2022年3月期(予想)	—	36.00	—	40.00	76.00		27.5	

### 3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者 に帰属する当期 利益	基本的1株当た り当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	193,000	0.9	8,800	141.7	8,800	129.3	5,100	—	4,100	276.69

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 一社（社名）、除外 1社（社名）佛山優達佳汽配有限公司

(注) 詳細は9ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（当連結会計年度における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	14,820,000株	2020年3月期	14,820,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期	1,824株	2020年3月期	1,776株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	14,818,217株	2020年3月期	14,818,282株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	79,150	5.7	△2,497	—	6,029	218.3	1,032	—
2020年3月期	74,853	0.1	△1,633	—	1,894	△74.2	△1,658	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	69.65	—
2020年3月期	△111.89	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年3月期	68,043		47,196		69.4	3,185.00		
2020年3月期	64,626		46,697		72.3	3,151.35		

(参考) 自己資本 2021年3月期 47,196百万円 2020年3月期 46,697百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結財政状態計算書 .....	4
(2) 連結包括利益計算書 .....	5
(3) 連結持分変動計算書 .....	6
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(当連結会計年度における重要な子会社の異動) .....	9
(セグメント情報) .....	10
(1株当たり利益) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### ① 当期の経営成績

当連結会計年度における経済環境は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済活動の停滞や個人消費の減少、雇用環境の悪化が深刻であります。12月にはワクチン接種が始まり感染抑制と経済活動の両立が模索されております。国内において輸出は堅調さを見せていますが、個人消費、生産活動などを中心に全体としては下降基調となっております。また、自動車販売においては、半導体不足、港湾混乱など複数の要因により、工場が生産停止するなど依然厳しい状況です。海外の自動車販売においては、地域によって新型コロナウイルス感染症の影響が異なり、中国地域の順調な需要回復、北米地域は堅調に推移しておりますが、アジア地域では減少基調であり、更に半導体不足による影響等もあり、総じて横ばい傾向にあります。世界は脱炭素社会に向け電動化の加速が求められる中、先行きは不透明な状況です。

この様な環境の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大及び半導体供給不足に伴う顧客からの受注減による減収影響があったものの、中国における顧客からの受注増による増収効果があり、売上収益は、1,913億2千6百万円(前年同期比17.1%増)となりました。利益については、増収に伴う利益増があったものの、当社が保有する固定資産について減損損失38億円を計上したことにより、営業利益36億4千1百万円(前年同期比20.7%減)、税引前利益38億3千7百万円(前年同期比15.6%減)となり、当期損失については、主に中国地域において利益増による法人所得税費用の増加により、当期損失2億4百万円(前年同期は当期利益13億5千1百万円)、親会社の所有者に帰属する当期損失13億3千5百万円(前年同期は親会社の所有者に帰属する当期利益10億4千9百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

#### (日本)

顧客からの受注減及び新型コロナウイルス感染症による海外からの収入減の影響があったことに加え、売上構成差、償却費負担増や当社が保有する固定資産について、収益性が低下したことに伴い、減損の兆候が認められたことから、将来の回収可能性を検討した結果、固定資産の減損損失を計上(38億円)したことにより、売上収益374億7百万円(前年同期比13.1%減)、営業損失68億8千8百万円(前年同期は営業損失15億8千1百万円)となりました。

#### (北米)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う顧客からの受注減による影響があり、売上収益296億2千2百万円(前年同期比39.6%減)、営業利益3億4千9百万円(前年同期比28.3%減)となりました。

#### (アジア)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う顧客からの受注減による減収影響があり、売上収益177億7千3百万円(前年同期比40.0%減)、営業損失1千8百万円(前年同期は営業利益23億5千4百万円)となりました。

#### (中国)

顧客からの受注増による増収効果があり、売上収益1,200億5千4百万円(前年同期比106.5%増)、営業利益102億8千1百万円(前年同期比148.5%増)となりました。

#### (その他)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う顧客からの受注減による減収影響があったものの、英国において前期での解雇給付に伴うリストラチャリング費用の計上による影響がなくなったことにより、売上収益55億6千5百万円(前年同期比11.0%減)、営業損失2千万円(前年同期は営業損失11億9千5百万円)となりました。

(注) 上記に記載しているセグメント別の売上収益は、外部顧客への売上収益とセグメント間の内部売上収益の合計であります。

② 今後の見通し

次期の見通しといたしましては、新型コロナウイルス感染症拡大の収束時期は未だ不透明であることに加え、世界的な半導体不足等による生産調整が懸念されているものの、新型コロナウイルスワクチン接種の広がり等により、世界経済は回復基調に向かうことが予想されます。

このような環境の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大や半導体の供給不足による影響は予測されますが、客先からの受注状況の回復を見込んでおり増収となる予想です。利益面では、増収効果に加え減損損失の影響もなくなり増益となる予想です。

連結ベースで売上収益1,930億円、営業利益88億円、税引前利益88億円、当期利益51億円、親会社の所有者に帰属する当期利益41億円の予定であります。

為替レートにつきましては、1米ドル107円で予測しております。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び資本の状況

当連結会計年度末の資産につきましては、現金及び現金同等物や営業債権及びその他の債権の増加により、前連結会計年度末に比べ416億6千3百万円増加し、1,891億7千8百万円となりました。

負債につきましては、営業債務及びその他の債務や未払法人所得税等の増加により、前連結会計年度末に比べ402億5千7百万円増加し、1,034億1千5百万円となりました。

資本につきましては、利益剰余金の減少がありましたが、その他の資本の構成要素の増加により、前連結会計年度末に比べ14億6百万円増加し、857億6千3百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、321億2千1百万円(前年同期末比40.6%増)となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は161億5千1百万円(前連結会計年度比26.0%増)となりました。これは主に法人所得税等の支払額や営業債権及びその他の債権の増加による支出がありましたが、税引前利益や減価償却費及び償却費、減損損失、営業債務及びその他の債務の増加による収入が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は86億9千1百万円(前連結会計年度比5.5%減)となりました。これは主に新機種投資及び合理化投資に伴う有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は6億2千5百万円(前連結会計年度比88.3%減)となりました。これは主に借入金の純増額による収入がありましたが、配当金の支出等による減少が上回ったことによるものであります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、2015年3月期より、国際会計基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当連結会計年度末 (2021年3月31日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	23,866	34,054
営業債権及びその他の債権	36,430	64,622
棚卸資産	22,319	25,772
その他の流動資産	2,577	5,014
流動資産合計	85,192	129,463
非流動資産		
有形固定資産	56,686	54,484
無形資産	950	771
退職給付に係る資産	529	1,322
繰延税金資産	2,690	1,834
その他の非流動資産	1,467	1,305
非流動資産合計	62,323	59,715
資産合計	147,515	189,178
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	44,049	82,029
借入金	6,731	8,157
未払法人所得税等	590	2,176
引当金	—	1,476
その他の流動負債	3,700	3,617
流動負債合計	55,070	97,454
非流動負債		
借入金	2,256	2,170
退職給付に係る負債	2,540	2,031
引当金	1,293	—
繰延税金負債	479	244
その他の非流動負債	1,519	1,516
非流動負債合計	8,088	5,961
負債合計	63,158	103,415
資本		
資本金	1,754	1,754
資本剰余金	8	—
利益剰余金	76,480	75,126
自己株式	△3	△3
その他の資本の構成要素	△3,463	△849
親会社の所有者に帰属する持分合計	74,777	76,028
非支配持分	9,580	9,735
資本合計	84,357	85,763
負債及び資本合計	147,515	189,178

(2) 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上収益	163,435	191,326
売上原価	142,378	172,046
売上総利益	21,057	19,280
販売費及び一般管理費	16,738	15,790
その他の収益	490	336
その他の費用	221	184
営業利益	4,589	3,641
金融収益	407	321
金融費用	450	125
税引前利益	4,546	3,837
法人所得税費用	3,195	4,041
当期利益 (△は損失)	1,351	△204
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
確定給付負債(資産)の純額の再測定	20	869
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産の純変動	△2	1
純損益に振替えられることのない項目合計	18	871
純損益に振替えられることのある項目		
在外営業活動体の換算差額	△3,511	3,059
純損益に振替えられることのある項目合計	△3,511	3,059
その他の包括利益(税引後)合計	△3,493	3,929
当期包括利益	△2,142	3,726
当期利益(△は損失)の帰属		
親会社の所有者	1,049	△1,335
非支配持分	302	1,131
当期利益(△は損失)	1,351	△204
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△2,007	2,169
非支配持分	△135	1,557
当期包括利益	△2,142	3,726
親会社の普通株主に帰属する1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(△は損失)(円)	70.79	△90.07

(3) 連結持分変動計算書

(単位：百万円)

区分	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					確定給付負債(資産)の純額の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2019年4月1日残高	1,754	8	76,479	△3	—	11
当期利益(△は損失)			1,049			
その他の包括利益					20	△1
当期包括利益	—	—	1,049	—	20	△1
自己株式の取得及び売却				△0		
配当金			△1,067			
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			20		△20	
所有者との取引等合計	—	—	△1,047	△0	△20	—
2020年3月31日残高	1,754	8	76,480	△3	—	10

区分	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
	在外営業活動体の換算差額	その他の資本の構成要素合計			
2019年4月1日残高	△397	△387	77,852	10,176	88,027
当期利益(△は損失)		—	1,049	302	1,351
その他の包括利益	△3,075	△3,056	△3,056	△437	△3,493
当期包括利益	△3,075	△3,056	△2,007	△135	△2,142
自己株式の取得及び売却		—	△0	—	△0
配当金		—	△1,067	△461	△1,528
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		△20	—	—	—
所有者との取引等合計	—	△20	△1,067	△461	△1,528
2020年3月31日残高	△3,472	△3,463	74,777	9,580	84,357

(単位：百万円)

区分	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					確定給付負債(資産)の純額の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2020年4月1日残高	1,754	8	76,480	△3	—	10
当期利益(△は損失)			△1,335			
その他の包括利益					869	1
当期包括利益	—	—	△1,335	—	869	1
自己株式の取得及び売却				△0		
配当金			△533			
子会社に対する所有持分の変動額		△366				
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			871		△869	△1
利益剰余金から資本剰余金への振替		357	△357			
所有者との取引等合計	—	△8	△20	△0	△869	△1
2021年3月31日残高	1,754	—	75,126	△3	—	10

区分	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
	在外営業活動体の換算差額	その他の資本の構成要素合計			
2020年4月1日残高	△3,472	△3,463	74,777	9,580	84,357
当期利益(△は損失)		—	△1,335	1,131	△204
その他の包括利益	2,632	3,503	3,503	426	3,929
当期包括利益	2,632	3,503	2,169	1,557	3,726
自己株式の取得及び売却		—	△0	—	△0
配当金		—	△533	△1,786	△2,320
子会社に対する所有持分の変動額	△19	△19	△384	384	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		△871	—	—	—
利益剰余金から資本剰余金への振替		—	—	—	—
所有者との取引等合計	△19	△889	△918	△1,402	△2,320
2021年3月31日残高	△859	△849	76,028	9,735	85,763

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	4,546	3,837
減価償却費及び償却費	8,397	8,358
減損損失	—	3,800
金融収益及び金融費用	△136	△205
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	3,082	△24,747
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,777	△2,282
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	1,890	32,353
引当金の増減額 (△は減少)	1,357	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	212	△567
その他	△1,507	△1,368
小計	16,063	19,179
利息の受取額	463	324
配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△278	△90
法人所得税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,435	△3,262
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,816	16,151
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	240	△869
有形固定資産の取得による支出	△9,877	△7,826
有形固定資産の売却による収入	609	155
無形資産の取得による支出	△203	△152
投資有価証券の売却による収入	—	2
貸付金の回収による収入	34	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,197	△8,691
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,526	1,931
リース負債の返済による支出	△540	△411
長期借入れによる収入	816	40
長期借入金の返済による支出	△987	△787
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支出額	△1,067	△533
非支配持分への配当金の支出額	△1,059	△864
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,363	△625
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,637	2,443
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,381	9,278
現金及び現金同等物の期首残高	26,224	22,843
現金及び現金同等物の期末残高	22,843	32,121

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当連結会計年度における重要な子会社の異動)

当社の連結子会社であった佛山優達佳汽配有限公司は、2020年12月1日付で当社の連結子会社である佛山市豊富汽配有限公司を存続会社、佛山優達佳汽配有限公司を消滅会社とした吸収合併を行いました。この結果、当連結会計年度末における連結子会社数は15社となりました。

## (セグメント情報)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び当社の子会社においてそれぞれ独立した経営単位であり、取締役会及び取締役会から選定された取締役によって構成される経営会議において、経営の重要事項について審議し、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社では、地域毎に取締役本部長・担当取締役等が任命されており、担当地域の包括的な戦略の立案を統括し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売を基礎とした地域別のセグメントから構成されております。

各報告セグメントの主な地域は、以下のとおりです。

報告セグメント		主要な製品及びサービス
日本	日本	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品、その他) 自動車部品二輪 汎用部品 その他
北米	米国 メキシコ	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品、その他) 自動車部品二輪
アジア	フィリピン インドネシア タイ インド	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品) 自動車部品二輪
中国	中国	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品)
その他	英国 ブラジル	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品、その他)

2. 報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループの前連結会計年度及び当連結会計年度の報告セグメント情報は以下のとおりです。

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2)	連結財務諸表 計上額
	日本	北米	アジア	中国	その他 (注1)	合計		
外部顧客への売上収益	26,237	48,636	27,373	55,571	5,618	163,435	—	163,435
セグメント間の 内部売上収益	16,789	402	2,235	2,568	634	22,629	△22,629	—
計	43,026	49,039	29,608	58,139	6,252	186,064	△22,629	163,435
営業利益(△は損失)	△1,581	486	2,354	4,137	△1,195	4,201	388	4,589
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	407
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	450
税引前利益	—	—	—	—	—	—	—	4,546
減価償却費及び償却費	2,839	2,164	1,796	1,679	268	8,748	△351	8,397
減損損失	—	—	—	—	—	—	—	—

(注1) 「その他」の区分は、英国及びブラジルの現地法人の事業活動を含んでおります。

(注2) 営業利益(△は損失)の調整額388百万円はセグメント間取引消去388百万円であります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2)	連結財務諸表 計上額
	日本	北米	アジア	中国	その他 (注1)	合計		
外部顧客への売上収益	23,546	29,190	15,808	118,203	4,578	191,326	—	191,326
セグメント間の 内部売上収益	13,861	432	1,965	1,851	987	19,095	△19,095	—
計	37,407	29,622	17,773	120,054	5,565	210,421	△19,095	191,326
営業利益(△は損失)	△6,888	349	△18	10,281	△20	3,703	△62	3,641
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	321
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	125
税引前利益	—	—	—	—	—	—	—	3,837
減価償却費及び償却費	3,066	2,223	1,786	1,354	250	8,679	△321	8,358
減損損失	3,800	—	—	—	—	3,800	—	3,800

(注1) 「その他」の区分は、英国及びブラジルの現地法人の事業活動を含んでおります。

(注2) 営業利益(△は損失)の調整額△62百万円はセグメント間取引消去△62百万円であります。

## (1株当たり利益)

基本的1株当たり当期利益(△は損失)及び算定上の基礎はそれぞれ以下のとおりであります。

なお、希薄化効果を有する潜在株式はありません。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益(△は損失)(百万円)	1,049	△1,335
期中平均普通株式数(株)	14,818,282	14,818,217
基本的1株当たり当期利益(△は損失)(円)	70.79	△90.07

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。